

公表

事業所における自己評価結果_児童発達支援

事業所名		公表日				
インクルー日立教室		2025年 3月 25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		年齢層や特徴を見て、使用する部屋を分けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1	配置人数は適正。 個別で支援が必要な場面、状況も見られるため、その都度対応をおこなっています。	配置基準は足りているが、もっと職員数が欲しいときもある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	2	児童の離脱防止で柵があります。 安全上に設置しています。	必要に応じて環境整備を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		毎日清掃、整理整頓を行っています。 児童にも片付け、整理整頓、自己管理を促しています。	今後も継続していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		フロアも壁で仕切り、児童の特徴に合わせて、支援内容を変える事も可能です。	必要に応じて環境整備を行っていく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		毎日、1日の振り返りと、スタッフ間で情報共有を行っています。	今後も継続し、職員の資質向上につなげていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者参加の日を設けたり、連絡がとれる体制をとっております。	定期的に評価を行っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	2	支援前後、支援中にも情報交換を行い、業務での問題、課題を早く解決できるようにしています。	今後も継続していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		頂いた情報から改善したり、共有しています。	第三者評価を行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1	事業所独自の運動研修、eラーニングを使用して、発達障害への理解を勉強しています。	今後も継続していく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		個別支援計画書、専門の実施支援等を作成し、ケアを保護者様へ公開しています。	今後も定期的に見直しや変更を行っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3		個別支援計画書、専門の実施支援へ反映しています。 状況変化もスタッフ間、保護者様と共有しています。	定期的にあセスメントを行い、職員全員が共有できるようにしていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		サービス担当者会議を開き、スタッフとケア内容を協議してから作成を行っています。	今後も継続していく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		作成後に変化があるか経過観察もスタッフと共有して共通理解をしています。	今後も継続していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		アセスメント実施時には保護者様へ分かりやすく説明をし、課題を共通理解できるようにしています	今後も継続していく。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		ご利用開始前に保護者様からアセスメントを実施し、個別支援計画書、専門の実施支援へ反映しています。	今後も継続していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		スタッフ全員で作成し、共有し実施しています。	より良い支援が提供できるよう、今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		日々、改善を検討、スタッフ間で共有しています。	より良い支援が提供できるよう、今後も継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3		1日の活動を組み、児童1人1人に合わせられるように支援内容を組んでいます。	療育の内容が充実したものとなるようにしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		毎日確認と意見交換、情報の共有をはかっています。	今後も継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		共有し、次はどのように支援していくか検討しています。	今後も継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		毎日サービス提供記録、日報をつけて保護者様へ公開しています。	今後も継続し、より良い支援につなげていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		決められた期限内での実施と、状況が変わった際にはその都度の変更を心がけています。	今後も定期的な見直しを続けていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		自立支援や、地域交流を含めた外出イベントを開いています。	機会があれば参加させていただく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		スタッフが主導する場面だけでなく、相談する事も行っています。	協力医療機関はあるが、その他の連携はあまりないと感じるため、積極的に関わりを持つようにしていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		普段からも相談支援員さんと支援について相談したり、情報交換を行っています。	送迎時や電話連絡等、今後も必要に応じて情報共有を行っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		市役所、保健センター、各公共機関、相談支援専門員、他デイとともに連携しております。	今後も継続していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3		相談支援専門員、並びに関りのある所は今後も随時参加を続けていきます。	機会があれば受けてみたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3		普段から送迎時にご報告、またはご連絡をとらせて頂き、情報共有を重視しています。	今後、保護者様から要望等あれば機会を作っていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		送迎時、またはご連絡を頂いたり、こちらからかけた際に積極的に取り組んでいます。	今後も保護者様との情報共有の機会を大切に、必要に応じて面談等の機会を設けていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		実施しています。もしも訂正やより特化した内容への変更、相談を重ねております。	研修等あれば保護者様に情報提供していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		アセスメント作成時には、保護者様がどのような所がお悩みか等を考え、くみ取れるように実施しています。	今後も継続していく。

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		ご利用前に分かりやすいように説明すること、理解を頂けるように気を付けています。	今後も継続し、より良い支援につなげていく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		送迎時、またはご連絡やり取り時、保護者様との会話に重視しております。	今後も継続、定期的に意向の確認を行っていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		保護者説明会の実施等を実施しています。	保護者様のご要望に適切に対応できるようにしていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		責任者を配置し、スタッフでも対応と説明が出来るように体制をつくっています。	保護者会を行ったが参加者がおらず、保護者同士の交流の場にはならなかった。交流を求める保護者もいないように感じる。要望があれば兄弟で参加できるイベント等計画、実施していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		プライバシーに考慮しながら行っています。	今後も苦情等が出た場合には適切に対応していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		セキュリティを行い対策しています。	今後も継続していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		送迎時や電話等で保護者とお子さんについて気になることを細かく話し合っています。	今後も継続していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		お散歩等で近隣の方に挨拶やお話をすることで当事業所についてご理解をいただけるように努めています。	今後も継続していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		マニュアルをもとに、日頃から児童が安全に通所できるように職員間で連携をとっています。	今後、検討や企画をしていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	2	消防署等の関係機関の方に来所していただき、訓練や研修を定期的に行っています。	定期的に周知できる機会を作るようにしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	2	契約時にお聞き取りシートに服薬やてんかん発作等の状況を保護者に記入していただき、確認しています。	BCPは策定されている。避難訓練は行っているが、その他の訓練はまだ行うことができていない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		契約時にお聞き取りシートにアレルギーに関する情報を記入していただき、対応方法を一緒に確認しています。	今後も契約時にしっかりと確認し、対応していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		計画に基づいて、訓練を定期的に行っています。	アレルギーのある子どもがいない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		保護者会等で当事業所の安全への取り組みについて周知しています。	今後も安全管理をきちんと行い、支援していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		ヒヤリハットが起きた際は、報告書を提出し、事業所全体で同じことが起きないように対応策を検討しています。	今後、周知できるようにしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		他機関の虐待防止研修に参加したり、事業所内でも研修を開いたりして虐待防止への意識を高めています。	今後も継続していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		身体拘束は基本的に行わないよう細心の注意をはらっています。どうしても行わなくてはならない場合のことも考え、事業所内で定期的に対応方法を考えています。	定期的に行うようにしていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		保護者様に状況を説明し、理解と同意を頂き、書面を作成後に行っています。	今後も丁寧に説明していく。

公表

事業所における自己評価結果_放課後等デイサービス

事業所名		公表日 2025年 3月 25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		年齢層や特徴を見て、使用する部屋を分けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3	配置人数は適正。個別で支援が必要な場面、状況も見られるため、その都度対応をおこなっています。	法律では充分かもしれませんが、個別での対応が必要なお子さんが多くいらっしゃると思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	児童の離脱帽子で柵があります。安全上に設置しています。	今後も継続していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日清掃、整理整頓を行っています。児童にも片付け、整理整頓、自己管理を促しています。	今後も継続していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		クールダウンが出来る個室があります。	今後も臨機応変に場所の提供を行っていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		毎日、1日の振り返りと、スタッフ間で情報共有を行っています。	今後も継続していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者参加の日を設けたり、連絡がとれる体制をとっております。	今後も継続していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	3	スタッフ間で児童の特徴、イベント制作について話し合いをしたり、業務の合間を見て情報共有を行っています。	職員の意見などききとりの時間を設けて欲しい。(月1程度)
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		頂いた情報から改善したりを共有しています。	今後も継続していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	事業所独自の運動研修、eラーニングを使用して、発達障害への理解を勉強しています。	療育に関する運動以外の研修に参加したい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		個別支援計画書、専門的实施支援等を作成し、ケアを保護者様へ公開しています。	今後も継続していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		個別支援計画書、専門的实施支援へ反映しています。状況変化もスタッフ間、保護者様と共有しています。	今後も継続していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		サービス担当者会議を開き、スタッフとケア内容を協議してから作成を行っています。	今後も継続していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		作成後に変化があるか経過観察もスタッフと共有しています。	今後も継続していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		アセスメント実施時には保護者様へ分かりやすく説明をし、課題を共通理解できるようにしています。	今後も継続していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ご利用開始前に保護者様からアセスメントを実施し、個別支援計画書、専門的实施支援へ反映しています。	今後も継続していく。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		スタッフ全員で作成し、実施しています。	今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		日々、改善を検討、共有しています。	今後も継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		1日の活動を組み、児童1人1人に合わせられるように支援内容を組んでいます。	今後も継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日確認と意見交換、情報の共有をはかっています。	今後も継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		共有し、次はどのように支援していくか検討しています。	今後も継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		毎日サービス提供記録、日報をつけて保護者様へ公開しています。	今後も継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		決められた期限内での実施と、状況が変わった際にはその都度の変更を心がけています。	今後も継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4		自立支援や、地域交流を含めた外出イベントを開いています。	今後も継続していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		日々の業務でスタッフが主導する場面だけでなく、問いかける事も行っています。	今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		普段からも相談支援員さんと支援について相談したり、情報交換を行っています。	今後も継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		市役所、保健センター、各公共機関、相談支援専門員、他デイともに連携しております。	今後も継続していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		ご利用前、ご利用時、日々連携をとり、課題を共有、相談を重ねております。	今後も継続していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		それらの情報を重視し、年齢相応や特徴に合わせた支援を考えております。	今後も継続していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		提供体制は出来ております。	今後も継続していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		研修を受ける体制は出来ています。	今後も継続していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		体験会や事業所での運動体験等を実施しております。一部イベントは障がいの有無に問いません。	今後も継続していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		相談支援専門員、並びに関りのある所は今後も随時参加を続けていきます。	今後も継続していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		普段から送迎時にご報告、またはご連絡をとらせて頂き、情報共有を重視しています。	今後も継続していく。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		送迎時、またはご連絡を頂いたり、こちらからかけた際に積極的に取り組んでいます。	今後も継続していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		実施しています。 もしも訂正やより特化した内容への変更、相談を重ねております。	今後も継続していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		アセスメント作成時には、保護者様がどのような所がお悩みか等を考え、くみ取れるように実施しています。	今後も継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		ご利用前に分かりやすいように説明することと、理解を頂けるように気を付けています。	今後も継続していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		送迎時、またはご連絡やり取り時、保護者様との会話に重視しております。	今後も継続していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4		保護者説明会の実施等を実施しています。	今後も継続していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		責任者を配置し、スタッフでも対応と説明が出来るように体制をつくっています。	今後も継続していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		プライバシーに考慮しながら行っています。	今後も継続していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		セキュリティを行い対策しています。	今後も継続していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		送迎時や電話等で保護者とお子さんについて気になることを細かく話し合っています。	今後も継続していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	お散歩等で近隣の方に挨拶やお話をすることで当事業所についてご理解をいただけるように努めています。	行事として、地域住民の方と関わる機会があまり作れていないので、今後積極的に取り組んでいきたいです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	マニュアルをもとに、日頃から児童が安全に通所できるように職員間で連携をとっています。	実際に何か起きたときにマニュアルを生かして確実に対応できるように、職員全員でもっと訓練をする必要があります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		消防署等の関係機関の方に来所していただき、訓練や研修を定期的に行っています。	今後も継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時にお聞き取りシートに服薬やてんかん発作等の状況を保護者に記入していただき、確認しています。	今後も継続していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		契約時にお聞き取りシートにアレルギーに関する情報を記入していただき、対応方法を一緒に確認しています。	今後も継続していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		計画に基づいて、訓練を定期的に行っています。	今後も継続していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		保護者会等で当事業所の安全への取り組みについて周知しています。	今後も継続していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットが起きた際は、報告書を提出し、事業所全体で同じことが起きないよう対応策を検討しています。	今後も継続していく。

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		他機関の虐待防止研修に参加したり、事業所内でも研修を開いたりして虐待防止への意識を高めています。	今後も継続していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束は基本的に行わないよう細心の注意をはらっています。どうしても行わなくてはいけない場合のことも考え、事業所内で定期的に対応方法を考えています。	今後も継続していく。